



元の操作説明書の翻訳

CP7

コントロールユニット

カタログ番号

600-310

ソフトウェアバージョン

V1.43

lind10jp1-01-(2404)



INFICON GmbH

Bonner Straße 498

50968 Köln, Germany

目次

1 本書について	6
1.1 対象読者.....	6
1.2 警告.....	6
2 安全	7
2.1 対象の用途.....	7
2.2 オペレーターの義務.....	8
2.3 ユーザーへの要求事項.....	8
2.4 危険.....	9
3 同梱品、輸送、保管	10
4 説明	11
4.1 機能.....	11
4.2 デバイスのセットアップ.....	11
4.2.1 CP7のタッチパネルの構成.....	12
4.2.2 結果の表示.....	14
4.3 技術仕様.....	16
4.3.1 機械的データ.....	16
4.3.2 環境条件.....	16
4.3.3 電気的データ.....	16
4.4 工場出荷時設定.....	17
5 設置	18
6 操作	20
6.1 電源をオンにしてログインする.....	20
6.2 基本設定.....	20
6.2.1 表示言語の設定.....	20
6.2.2 日時および時間帯の設定.....	20
6.2.3 ユーザプロファイルの設定.....	20

6.2.3.1	権限グループの概要	20
6.2.3.2	ユーザプロフィールを選択、修正、および作成する	21
6.2.3.3	個人用の設定を修正する	22
6.2.4	自動ログインをオフにする	23
6.2.5	自動ログインをオンにする	23
6.3	測定のための設定	24
6.3.1	製品の選択、編集、作成（測定設定）	24
6.3.2	製品を選択する	25
6.3.3	測定ウィンドウの入力フィールドの使用	26
6.4	ELT Vmaxと組み合わせて測定する	27
6.5	「ゼロ」測定を実行する	29
6.6	デバイスをパージする（シンプルパージ）	29
6.7	測定データおよびデバイス情報	30
6.7.1	測定データを呼び出す	30
6.7.2	測定データをコピーする	30
6.7.2.1	分析データのコピー	30
6.7.3	測定データを削除する	32
6.7.4	デバイス情報を呼び出す	32
6.7.5	ログを呼び出す	32
6.8	ソフトウェアをアップデートする	33
6.8.1	操作ユニットのソフトウェアをアップデートする	33
6.8.2	基本ユニットのソフトウェアをアップデートする	34
6.8.3	ガス検知ユニットのソフトウェアをアップデートする	35
6.9	工場出荷時設定に戻す	36
6.10	高度の設定	36
6.11	アクティブなエラーおよび警告を呼び出す	36
6.12	ログアウト	37
7	CP7ハウジングの清掃	38
8	デコミッショニング	39

8.1	Gerät entsorgen	39
8.2	メンテナンス、修理または廃棄のためのCP7の返却	39
9	証明書	41
9.1	CE宣言	41
9.2	中国版RoHS	42

1 本書について

本書は、表紙下部に記載されているソフトウェアバージョン用です。

本書に引用されている製品名は、識別のためにのみ使用されていて、実際とは異なる場合があります。製品名は、それぞれの権利所有者に属します。

1.1 対象読者

本取扱説明書は、本装置のオペレータ、およびリーク検出技術およびリーク検出システムへのリークディテクタの統合に関する経験を有する専任担当者を対象に編まれています。また本装置の組み込みおよび使用には、電子インターフェースの知識が必要です。

1.2 警告



⚠ 危険

死亡や重傷に至る差し迫った危険な状況



⚠ 警告

死亡や重傷に至る可能性がある危険な状況



⚠ 注意

軽傷に至る危険な状況



注記

環境または物的な損害が生じる危険な状況

2 安全

2.1 対象の用途

このデバイスは、他のINFICONデバイスの操作または設定に使用されます。

CP7はドライルームでの使用に適しています。

- 誤った使用による危険を回避するために、必ず取扱説明書に記載された所定の用途にのみデバイスを使用してください。
- アプリケーション制限値を厳守してください。「技術データ」を参照してください。

不適切な使用

次に挙げる状況や用途には使用しないでください：

- 技術仕様外での使用（「技術データ」を参照）
- 第三者装置からの強い電磁界が測定結果に影響を与える可能性がある場所への装置の取り付け
- 本体装置またはコントロールユニットに保護導体を取り付けていない装置の使用
- 確認可能な故障のある装置の使用
- 放射能のある場所での使用
- 本取扱説明書に記載されていないアクセサリやスペアパーツの使用
- 爆発性雰囲気でのデバイスの使用
- 装置のインターフェースへの危険電圧の接続
- 十分な耐荷重を持たない保持部（装置、またはオプションの操作ユニット）への設置または取り付け。
- 注意：本装置は住宅地域での使用を想定していません。

2.2 オペレーターの義務

- 本書および所有者が作成した作業手順を読み、記載された内容を遵守してください。特に、安全注意事項や警告類には注意してください。
- すべての作業は、本取扱説明書に基づいて実施してください。
- 本取扱説明書に記載されていない運転やメンテナンスに関するご質問については、カスタマーサービスにお問い合わせください。

2.3 ユーザーへの要求事項

次の注意事項は、ユーザー、従業員または第三者が製品を安全かつ効果的に使用する上で責任を負う企業または担当者を対象としています。

安全性を重視した操作

- デバイスは、機能や動作に問題がなく、かつ損傷がない場合にのみ運転してください。
- デバイスは、本取扱説明書に従って安全性を重視し、リスクに配慮した方法でのみ該当してください。
- 次の規則に従い、それらが厳守されることを確認してください：
 - 対象の用途
 - 一該当の安全注意事項全般および事故防止規則
 - 国際、国内および地域の規格およびガイドライン
 - その他の機器関連の規定や規則
- 純正部品またはメーカーが承認した部品のみを使用してください。
- 本取扱説明書はいつでも閲覧できる場所に保管してください。

作業員の資格

- デバイスを用いた作業は、指示された作業員に限定されます。指示された作業員は、デバイスに関するトレーニングを受けている必要があります。
- 任命された作業員が、本取扱説明書やその他該当する文書を読み、理解していることを確認してください。

2.4 危険

この測定機器は、最新かつ広く認められている安全規則に基づいて製造されています。ただし、不適切な方法で使用した場合、ユーザーまたは第三者の生命および身体への危険、または機器やその他の物的損害につながる危険性があります。

化学物質による危険

- デバイスは、爆発の危険性がない場所でのみ使用してください。

電気エネルギーによる危険性

装置内部の通電部品に触れると死亡する危険があります。

- 装置の設置やメンテナンス作業に先立って、装置を電源から切り離してください。許可なく電源が供給されることのないようにしてください。

装置には、高電圧によって損傷を受ける可能性のある電気部品が含まれています。

- 装置を電源に接続する前に、デバイスの指定電圧と使用環境の電圧が一致していることを確認してください。

滑り・転倒による負傷の危険

- 装置は傾いていない平面に置いてください。

3 同梱品、輸送、保管

納品範囲

	数量
CP7	1
開梱手順書	1
取扱説明書はPDFファイルでダウンロードできます (www.inficon.com)。	1

- ▶ 製品の受け取り時に、すべての品目が揃っていることを確認してください。

輸送

注記

輸送による損傷

不適切な梱包材による輸送は、装置の損傷につながる可能性があります。

- ▶ 元の梱包材は保管しておいてください。
- ▶ 装置の搬送には、必ず元の梱包材を使用してください。

保管

デバイスは、必ず技術データに基づいて保管してください。「技術仕様 [▶ 16]」を参照してください。

4 説明

4.1 機能

本デバイスは、INFICONデバイスの操作や設定を行うためのコントロールユニットです。

4.2 デバイスのセットアップ

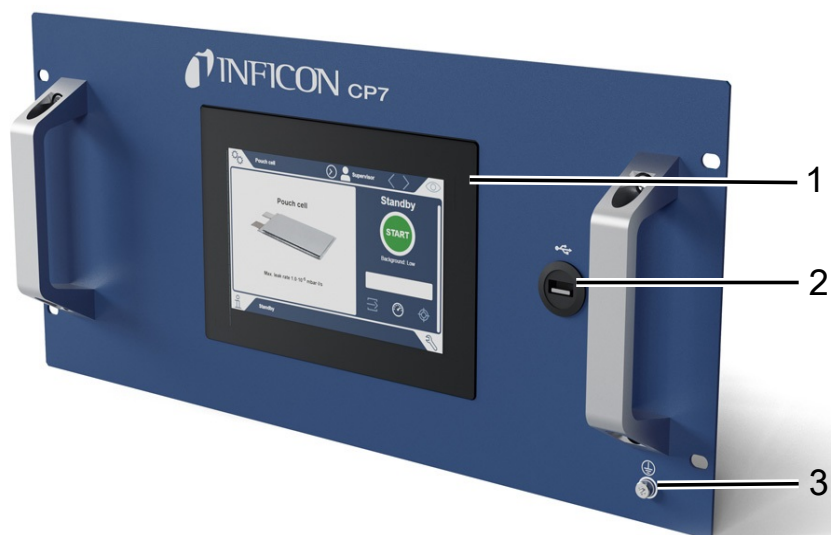
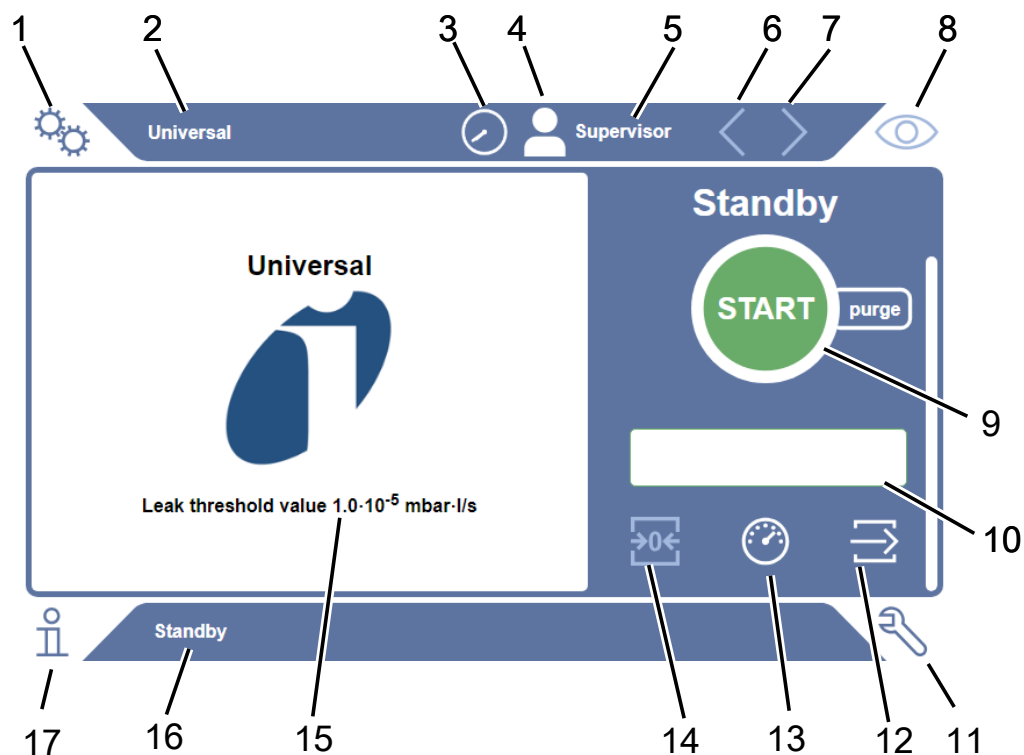


図 1: CP7

1	ディスプレイ
2	USB接続部
3	保護導体の接続

CP7 の背面には、ELT Vmax 用の接続と保護導体用の別の接続があります。

4.2.1 CP7のタッチパネルの構成



1	ナビゲーションボタン、設定	10	オプションの入力フィールド
2	製品名	11	ナビゲーションボタン、診断
3	時間	12	パーズ
4	権限	13	測定中
5	ユーザー名	14	ZERO
6	前のページ	15	セットポイント
7	次のページ	16	現在のウィンドウの名称
8	ナビゲーションボタン、運転	17	ナビゲーションボタンの情報
9	STARTボタン		

機能ボタン

これらのボタンは、次の3色で表示されます：

- グレー：機能が無効
- 薄い青：機能を選択可能
- 白：機能が有効

一般機能の記号

⊗	作動中の機能のキャンセル
②	現在の機能のヘルプ呼び出し
⊙	入力または選択内容の確定
↶	読み込み
☰	分析
↵	保存
✎	編集
📄	コピー
🗑	削除
➤	次のページ
➤	前のページ

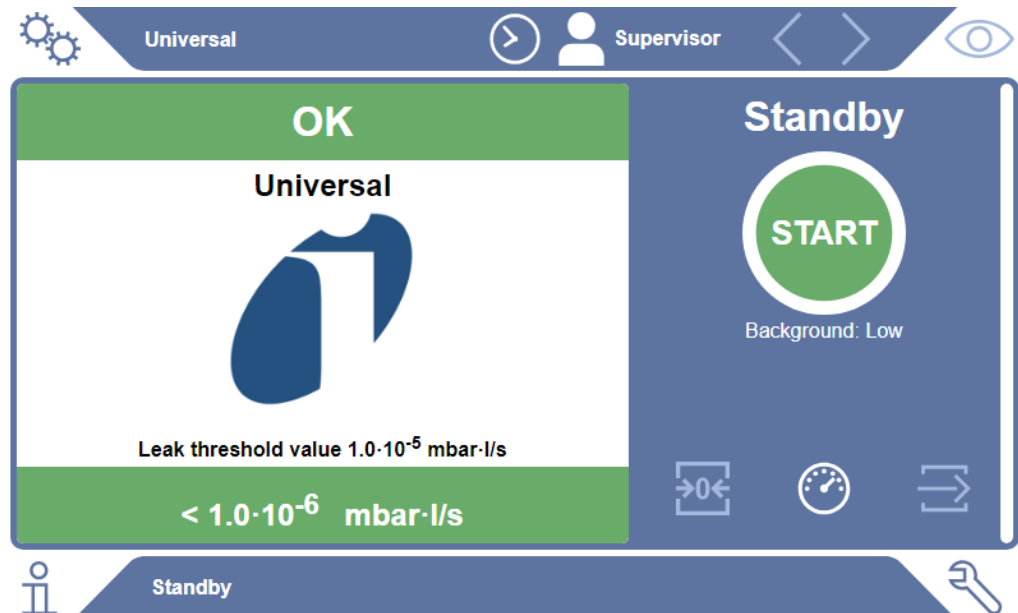
左側の測定ウィンドウに測定結果が表示されます。詳細な情報は、「結果の表示 [▶ 14]」を参照してください。

4.2.2 結果の表示

測定されたリークレートは左側の「スタンバイ」ウィンドウに数字と色で表示されます。

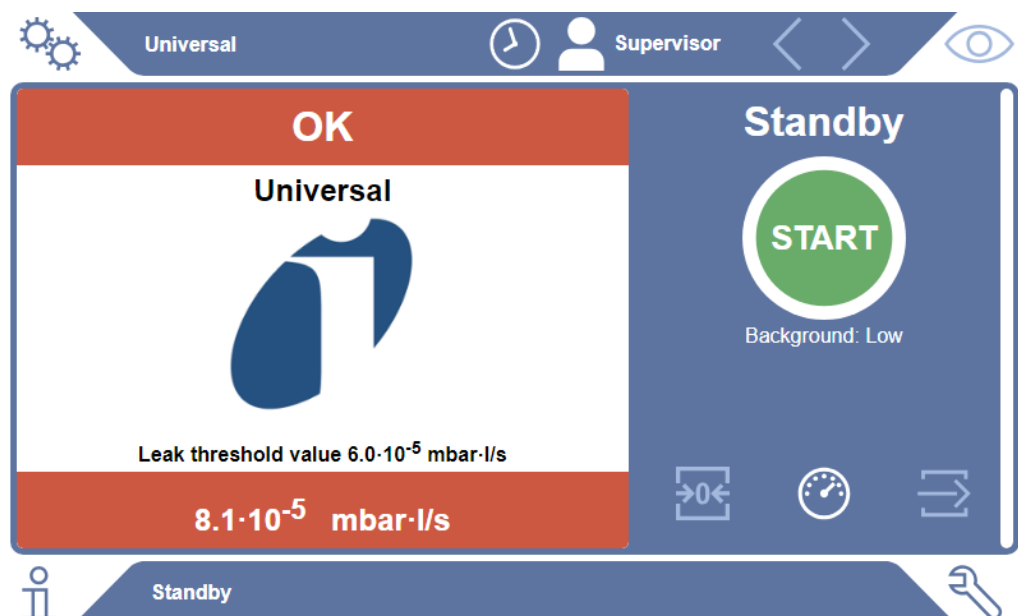
測定結果：合格

リークレートが設定されたセットポイントを下回る場合、測定結果は緑色の背景で表示されます。



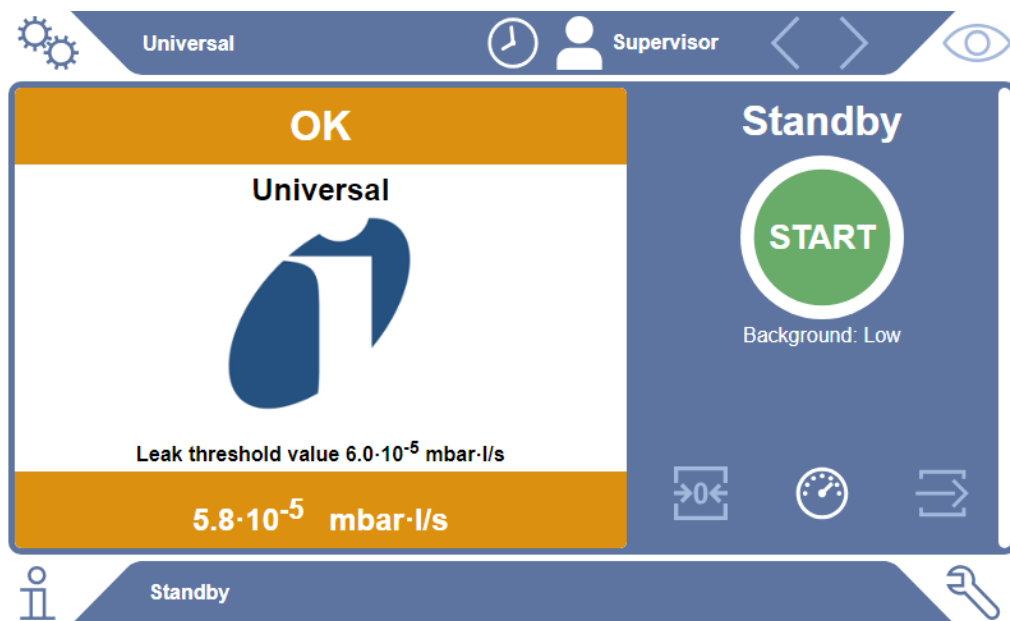
測定結果：不合格

リークレートが設定されたリークセットポイントを上回る場合、測定結果は赤色の背景で表示されます。



測定結果：警告あり

リークレートが、設定された警告セットポイントを上回っていても、リークセットポイントをまだ下回っている場合は、測定結果がオレンジ色の背景で表示されます。警告セットポイントの入力は任意です。



4.3 技術仕様

4.3.1 機械的データ

	600-310
寸法 (幅×高さ×奥行)	483 mm x 222 mm x 95 mm
重量	4.5 kg

4.3.2 環境条件

	600-310
許容周囲温度 (運転中)	10°C~40°C
保管温度の許容範囲	-10°C~60°C
31°Cまでの最大相対湿度	80%
31~40°Cの最大相対湿度	80%~50%の範囲で直線的に減少
40°Cを超過する場合の最大相対湿度	50%
保管および輸送中の相対湿度	最小10%、最大90%
汚染度	2
最大海拔高度	2000 m
使用環境の清浄度 (クリーンルームまたはクリーンルームクラス)	ISOクラス6
使用	屋内のみ

4.3.3 電氣的データ

	600-310
名称	CP7
電流	4A
電圧	24 V DC ± 10 %
電子インターフェース	リークディテクター

4.4 工場出荷時設定

パラメーター	工場出荷時設定
自動ログイン	ON
プリセットされたユーザー	Supervisor
管理者PIN (プリセット)	1111

5 設置

セットアップ

設置、接続、および試運転は、INFICONの認定を受けた従業員または訓練を受けた従業員のみが実行できます。

- デバイスを直射日光にさらさないでください。



危険

感電による危険

等電位化に接続されていないと、CP7の作動中に危険な感電が生じるおそれがあります。

- ▶ CP7 を電位均等化に接続してください。
- ▶ 危険な電圧のすぐ近くでCP7を操作しないでください。



警告

水分および電気による危険性

- ▶ デバイス内に水分が浸入すると、感電による人的損害や短絡による物的損害の原因となります。
- ▶ バッテリーリークディテクターは乾燥した環境下でのみ使用してください。
- ▶ バッテリーリークディテクターは液体や湿気から遠ざけて操作してください。



警告

転倒したりつまずいたりする危険性

- ▶ CP7 は、必ず滑りにくい、安定した、衝撃や振動のない場所に設置してください。
- ▶ CP7 を19インチラックに取り付けます。
- ▶ CP7 は常にテーブル デバイスとして操作するか、19 インチ ラックに設置して操作してください。CP7 は、適切なモニター ホルダーに取り付けることもできます。
- ▶ つまずく危険がないようにケーブルを取り回します。



⚠ 注意

電気部品の損傷による怪我の危険

CP7 を固定する際のネジが長すぎると、内部の電気部品が損傷し、火災の原因となります。

- ▶ CP7 を固定する際は、ネジ山の長さが最大10 mmのネジを使用します。



図 2: CP7

1	ディスプレイ
2	USB接続部
3	保護導体の接続

CP7 の背面には、I/Oモジュール用の接続部と保護導体用の別の接続部があります。

6 操作

6.1 電源をオンにしてログインする




- ▶ 電源を入れて、CP7を開始します。
 - ⇒ 初期設定では、起動段階後にCP7の測定画面が表示されます。

6.2 基本設定

6.2.1 表示言語の設定

ユーザー設定で言語を設定できます。「ユーザプロフィールを選択、修正、および作成する [▶ 21]」を参照してください。

6.2.2 日時および時間帯の設定

- ✓  スーパーバイザー権限
 - 1  > 一般 > 日付および時刻
 - 2 設定します。
 - 3  で保存します。

6.2.3 ユーザプロフィールの設定



6.2.3.1 権限グループの概要

個々のユーザーの権限は所属グループにより異なります。



User


 のUserは

- 保存されている製品から選択
- 測定の実行
- 測定結果の履歴表示
- デバイス情報の表示
- エラーログの表示

Operator	<p> Operator グループに属するスタッフは User の権限すべてを持ちます。さらに下記の作業ができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 製品の作成/変更/削除• ユーザーの作成/変更/削除• 画像の作成/変更/削除• 測定データのエクスポート/削除• 測定設定の変更
Supervisor	<p> Supervisor グループに属するスタッフは User および Operator グループのすべての権限を持ちます。さらに下記の作業ができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• オペレーターの作成/変更/削除• スーパーバイザーの作成/変更/削除• ソフトウェアのアップデートの実行• 日付/時刻の変更


6.2.3.2 ユーザプロフィールを選択、修正、および作成する

✓   **Operator** または **Supervisor** の権限

1  > ユーザーアカウント > ユーザーアカウントを管理


⇒ 既存ユーザーおよび所属グループがリスト形式で表示されます。

2 次のことを行えます

新しいユーザープロフィールを作成するには、ウィンドウ下部の  を選択します。

⇒ 「ユーザー設定」ウィンドウが開きます。

または、既存のユーザー名を押してツールバーから選択します。

 でユーザープロフィールを読み込みます。

⇒ ログインウィンドウが開きます。

 でユーザープロフィールを変更します。


⇒ 「ユーザー設定」ウィンドウが開きます。

でユーザープロフィールを削除します。

⇒ 確認画面が表示されます。

- 3 設定の選択後、「ユーザー設定」ウィンドウが開きます。この場合、必要に応じてユーザー名を入力または変更するか、そのまま使用します。



- 4 「PIN」フィールドが空欄の場合または内容を変更する場合は、4桁のPINを入力します。
- 5 ユーザーに必要な権限を割り当てるには、グループを選択します。〈および〉で、「User」、「Operator」、「Supervisor」のいずれかを選択します。権限グループの概要 [▶ 20]を参照してください。
- 6 「言語」フィールドで〈と〉を使用して、ユーザーに言語を割り当てます。
- 7 で保存します。

6.2.3.3 個人用の設定を修正する

制限された権限を持つユーザー（**ユーザーグループ**）でも、言語やPINを変更できます。関連付けられたユーザープロフィールも同様に変更されます。すべてのユーザープロフィールにアクセスする必要はありません。

- 1 ディスプレイ左上に表示されているユーザー名を押します。
 - ⇒ 「ユーザーオプション」ウィンドウが開きます。
- 2 必要に応じて「PIN変更」ボタンまたは「言語変更」ボタンを押します。

6.2.4 自動ログインをオフにする






工場出荷時設定

工場出荷時設定では、デバイスをオンすると自動的にSupervisor ユーザーとしてログインし、測定画面が呼び出されます。この初期設定ユーザーは「Supervisor」グループの権限を持ちます。この設定を変更しない限り、どのユーザーも制限なしにすべての機能を使用できます。

デバイスをオンした際に、自動ログインせずにログインウィンドウを表示するように設定できます。

ログインウィンドウでは、デバイスに登録済みのユーザーであればログインできます。「製品の選択、編集、作成（測定設定） [▶ 24]」を参照してください。


✓  スーパーバイザー権限

- 1  > ユーザーアカウント > 自動ログインの管理
- 2 「Auto Login」ウィンドウでオプション「有効」を無効にします。
- 3  で保存します。



⇒ デバイスを再起動すると、最新の設定内容が適用されます。

6.2.5 自動ログインをオンにする

デバイスをオンした際に、ログインウィンドウを表示せずに、選択したユーザーを自動的にログインさせるように設定できます。

✓  スーパーバイザー権限

✓ 指定されたユーザーは既に登録されています。「ユーザプロフィールを選択、修正、および作成する [▶ 21]」を参照してください。

- 1  > ユーザーアカウント > 自動ログインの管理
- 2 「名称」フィールドにユーザー名を入力します。大文字／小文字は区別されません。
- 3 「PIN」フィールドにユーザープロフィールの現在のPINを入力します。
- 4 「Auto Login」ウィンドウでオプション「有効」を有効にします。
- 5  で保存します。

6.3 測定のための設定

6.3.1 製品の選択、編集、作成（測定設定）

測定仕様の設定には、作成した製品が必要です。



外部制御により閾値などのパラメーターを変更すると、ディスプレイに「No Product」と表示されます。

✓ OperatorまたはSupervisorの権限

1 > 製品

⇒ 作成された製品がリストとして表示されます。

2 製品名を押して、表示されるツールバーまたは表示から選択します。

で製品を読み込みます。

で製品設定を変更します。

⇒ 「製品設定」ウィンドウが開きます。

で製品設定をコピーします。

⇒ コピー元を入力すると、「製品設定」ウィンドウが開きます。

で製品を削除します。

⇒ 確認プロンプトが表示されます。

で新規製品を作成します。

⇒ 「製品設定」ウィンドウが開きます。

3 「設定」／「製品」から「製品設定」ウィンドウが開きます。この場合、「製品名」で必要に応じて製品名を入力または変更するか、そのまま使用します。



- 1 「リークセットポイント」で、上回った場合に製品を「漏れあり」として通知するときの値を入力します。標準設定は 1×10^{-5} mbar l/sです。
- 2 オプションでセットポイント警告を有効にすることができます。
- 3 バーコードを入力するには、タッチパネルを使用して入力するか、入力フィールドが有効の状態ではバーコードをスキャンします。
- 4 「画像選択」から、測定中に測定画面に表示される製品画像を読み込みます。装置に希望の画像が保存されていない場合は、画像データベースを拡張します。+を押した後、USBスティック（FAT32フォーマット）から画像（JPG、PNG、最大400×400 px）を画像ライブラリーに転送できます。
- 5 ↓で保存します。

6.3.2 製品を選択する



- 1 > 製品
 - ⇒ 作成された製品が表示されます。必要な製品が見つからない場合は、それを作成してください。「」を参照。ご希望の製品名を押してください。
- 2 読み込みます .

6.3.3 測定ウィンドウの入力フィールドの使用

必要に応じて測定ウィンドウで入力フィールドを設定し、そこに追加の情報テキストを入力することができます。例えばシリアル番号や変更番号などです。

このテキストは測定ウィンドウに表示されるだけでなく、データ記録にも保存されます。テキストは、実施される測定に割り当てられます。

1.測定ウィンドウの入力フィールドを設定する

- 1  > デバイス
- 2 「オプションの入力フィールド」フィールドを有効にします。
- 3  で保存します。

2.測定ウィンドウの入力フィールドに入力する、または変更する

✓ オプションの入力フィールドが有効にされていること。

- 1 測定ウィンドウの入力フィールドに触れます。
 - 2 表示されたキーボードで希望するテキストを入力します。
- ⇒ 装置を再起動した後、入力フィールドは空になります。
- ⇒ 次の測定が終了した後、入力フィールドは自動的に空になります。
- ▶ あるいはバーコードスキャナーを使用することもできます。市販のバーコードスキャナーを使用して、テストオブジェクトのバーコードをスキャンします。これは自動的に入力フィールドに適用されます。複数のバーコードをスキャンする場合、それらは | によって互いに分離されます。



バーコードスキャナーによるバーコードの読み込みはこのウィンドウで可能です。

6.4 ELT Vmaxと組み合わせて測定する



⚠ 注意

手の負傷に対する警告

- ▶ テストチャンバーの開閉は、指がテストチャンバーの外部にあるとき、およびテストチャンバーの回転範囲の外側にあるときのみ行ってください。



注記

テストチャンバーに不適切な充填を行ったことによる物損

流出してホースに達した液体は装置の機能に影響を及ぼすことがあります。鋭利な物体、グリース、オイルは、ダイヤフラム、チャンバーリングおよびシールリップを損傷するおそれがあります。

- ▶ オイル、グリース、炭化水素による測定チャンバーの汚れを防いでください。
- ▶ 鋭利な物体や角の尖った物体を保護フレームなしでテストチャンバー内に置かないでください。



測定が不正確にならないように以下を守ってください。

- ▶ ガasketがテストチャンバーの半分を覆わないように、または接触しないようにバッテリーを置きます。
- ▶ 周囲温度と著しく異なる温度のテストオブジェクトの測定は避けてください。
- ▶ テストチャンバーのガスケットは清潔に保ってください。汚れが取り除かれていない場合は、測定結果に誤りが生じることがあります。
- ▶ シール面を損傷しないでください。引っかき傷などの機械的な損傷によりチャンバーに漏れが発生することがあります。
- ▶ テストチャンバーを溶剤／アルコールで清掃しないでください。これらも誤った測定結果を招く可能性があります。

✓ シングルチャンバーまたはマルチチャンバーシステムが設置されています。「設置 [▶ 18]」を参照。

✓ 一般設定を行っていること。「基本設定 [▶ 20]」を参照。

✓ 希望する製品用の設定が装置に保存されていること。

- ✓ 希望する製品が選択されていること。「製品を選択する [▶ 25]」を参照。
- ✓ ELT Vmaxの測定プロセスは、ELT Vmaxによる測定が開始される前に、接続されたテストチャンバーが準備されるように設計されています。キャリアガスの添加を可能にする必要があります。
 - 1 測定画面を呼び出します。
 - 2 テストオブジェクトをテストチャンバーに置き、テストチャンバーを閉じます。
 - 3 外部ポンプへのバルブを開き、テストチャンバーを約3~10 mbarの目標圧力まで排気します。
 - 4 外部ポンプへのバルブを閉じます。
 - 5 キャリアガスバルブと、ELT Vmaxへのバルブを開きます。
 - 6 CP7をご使用の場合は、「START」ボタンで測定を開始します。
 - 7 測定プロセスの結果を確認します。
 - ⇒ CP7：測定されたリークレートは左側の「測定」ウィンドウに数字と色で表示されます。さらに「OK」、「リーク警告」、「リーク」の文字が表示されます。「結果の表示」を参照してください。測定の終了後、テストしたオブジェクトを取り外し、その他のテストオブジェクトを測定します。
 - ⇒ インターフェース：ELT Vmaxによって検出されるリークレートは、CP7によって読み出すことができます。
 - ⇒ 測定が完了すると、ELT Vmaxはスタンバイモードに戻ります。
 - 8 ELT Vmaxへのバルブとキャリアガスバルブを閉めます。
 - 9 換気バルブを使用して測定チャンバーを換気します。その後、チャンバーから試験片を取り出すことができます。「操作説明書 ELT Vmax」を参照してください。
 - 10 次の測定に備えて、Vバイパスを介して測定ラインを平行して排気することができます。これを行うには、読み取り可能な圧力p3をガイドとして使用します。この値は4.5 mbar未満に達するはずです。
 - 11 測定をキャンセルしたい場合は、いつでも測定プロセスを停止してください。



ステップ3が完了するとすぐに、次のテストチャンバーの排気を開始できます。



測定を同じテストオブジェクトで繰り返す場合、測定結果が異なる場合があります。これは多くの場合、先に行った測定によって溶媒の量が減るためです。

6.5 「ゼロ」測定を実行する



この機能は、汚染がごく少ないときに使用します。この場合、現在のバックグラウンド値がゼロに設定されます。バックグラウンド値が高い場合は「パージ」機能を使用します。

結果が緑色で表示され、値が適用されます。問題がある場合は、警告またはエラーが表示されます。

- 1  >  を選択します。
 - 2 測定チャンバを空にします。
 - 3 「ゼロ」測定を開始します。
- ⇒ 結果が緑色で表示され、値が適用されます。エラーの場合は、結果が赤色で表示されます。

6.6 デバイスをパージする（シンプルパージ）




この機能は、汚染があるときに使用します。これにより、バックグラウンド値を減らすためにテストチャンバーとホースラインがフラッシュされます。

シンプルパージはシステム経由で開始されます


ELT Vmax は、機能の開始後、自動すぎを実行します。その際、汚染後の装置内のバックグラウンドを低減させるために、テストチャンバーと真空システムが周期的に真空排気およびベントされます。

6.7 測定データおよびデバイス情報

6.7.1 測定データを呼び出す

1  > 測定


⇒ 実行された測定は、短い定式で1行ごとに表示されます。

2 測定の詳細ビューを表示するには、エントリーをタップし、表示される記号をタップします。


⇒ この測定に対して保存されたすべての情報が表示されます。

6.7.2 測定データをコピーする

測定結果は自動的に装置内に保存されます。最新の500,000件の測定が保存されます。測定データは、内部のメモリーからUSBメモリースティックへ転送できます。

✓  OperatorまたはSupervisorの権限

1 内部メモリーからデータを転送するには、FAT32でフォーマットされたUSBメモリースティックを装置のいずれかのUSB接続部に接続します。

2  > 測定

3  で保存します。

⇒ すべての測定データが転送されます。エクスポートが完了するとその旨表示されます。測定データは装置に保存されたまま残ります。



測定データは、CP7を使用している場合にのみ保存されます。

CP7を使用していない場合は、独自にデータ収集する対策を行ってください。

6.7.2.1 分析データのコピー

各測定時およびエラーの際には、CP7はデータを内部メモリーに記録します。

このファイルをインフィコンにEメールで送付するか、サポートにアップロード用リンクを要求してください。

インフィコンにこのデータを提供してください

1 FAT32フォーマットのUSBスティックをコントロールユニットに接続します。

2 装置操作部の「診断」 → 「サービスエクスポート」ページへ進みます。

3 「Export Service Data」ボタンを押します。

⇒ エクスポートの進捗状況は装置操作部に表示され、長時間の使用後は数分間続くことがあります (<25分)。


⇒ USBスティックにデータがエクスポートされました。ファイル名は「ServiceExport」 - 「シリアル番号」 - 「日付と時刻」で成り立っています。



データエクスポートは、長時間の使用後は数メガバイト (MB) のサイズになることがあります。

このアーカイブはパスワードで保護されています。

6.7.3 測定データを削除する

本機の内部メモリから測定データを削除することができます。

✓  **Operator** または **Supervisor** の権限

- 1  > 測定
- 2  を押します。

⇒ 記録されているすべての測定データが削除されます。

6.7.4 デバイス情報を呼び出す

▶  > デバイス情報

⇒ 保存されている情報が表示されます。

6.7.5 ログを呼び出す

装置メッセージをリスト形式で表示させるボタンです。この情報は、メーカーのサービス部門への問い合わせの際に役立ちます。

▶  > プロトコル

6.8 ソフトウェアをアップデートする

デバイスには、デバイス操作、基本デバイス、検出システム用のさまざまなソフトウェアバージョンが含まれています。バージョン番号は互いに無関係です。

6.8.1 操作ユニットのソフトウェアをアップデートする

ソフトウェアのアップデートにはUSBメモリースティックを使用します。



注記


接続の中止によるデータ損失

接続の中止によるデータ損失

- ▶ ソフトウェアのアップデート中は、デバイスをオフしたり、USBフラッシュドライブを取り外したりしないでください。

- 1 FAT32フォーマットのUSBメモリースティックのメインディレクトリにファイルをコピーします。

- 2 USBフラッシュドライブをデバイスのUSBポートに接続します。

- 3  > アップデート > アップデート、デバイスの操作

⇒ ウィンドウ上部には、装置操作部の現在のソフトウェアバージョンが表示されます。

USBフラッシュドライブに1つまたは複数のソフトウェアバージョンが存在する場合、最新バージョンが次の行に表示されます。このバージョンがインストール済みのバージョンであれば背景が緑、それ以外の場合は赤になります。

- 4 新しいソフトウェアバージョンを読み込むには、「アップデート」ボタンを押します。

⇒ 完了すると、動作ユニットは自動的に再起動します。

6.8.2 基本ユニットのソフトウェアをアップデートする

ソフトウェアのアップデートにはUSBメモリースティックを使用します。




注記

接続の中止によるデータ損失

接続の中止によるデータ損失

- ▶ ソフトウェアのアップデート中は、デバイスをオフしたり、USBフラッシュドライブを取り外したりしないでください。

- 1 FAT32フォーマットのUSBメモリースティックのメインディレクトリにファイルをコピーします。
- 2 USBフラッシュドライブをデバイスのUSBポートに接続します。
- 3  > アップデート > アップデート、本体
 - ⇒ ウィンドウ上部には、本体ユニットソフトウェアの現在のバージョンが表示されます。
USBフラッシュドライブに1つまたは複数のソフトウェアバージョンが存在する場合、最新バージョンが次の行に表示されます。このバージョンがインストール済みのバージョンであれば背景が緑、それ以外の場合は赤になります。
- 4 新しいソフトウェアバージョンを読み込むには、「アップデート」ボタンを押します。
 - ⇒ 完了すると、システムは自動的に再起動します。

6.8.3 ガス検知ユニットのソフトウェアをアップデートする

ソフトウェアのアップデートにはUSBメモリースティックを使用します。



注記


接続の中止によるデータ損失

接続の中止によるデータ損失

- ▶ ソフトウェアのアップデート中は、デバイスをオフしたり、USBフラッシュドライブを取り外したりしないでください。

- 1 FAT32フォーマットのUSBメモリースティックのメインディレクトリにファイルをコピーします。

- 2 USBフラッシュドライブをデバイスのUSBポートに接続します。

- 3  > アップデート > ガス検知ユニット

⇒ ウィンドウ上部には、本体ユニットソフトウェアの現在のバージョンが表示されます。

USBフラッシュドライブに1つまたは複数のソフトウェアバージョンが存在する場合、最新バージョンが次の行に表示されます。このバージョンがインストール済みのバージョンであれば背景が緑、それ以外の場合は赤になります。

- 4 新しいソフトウェアバージョンを読み込むには、「アップデート」ボタンを押します。

⇒ 完了すると、システムは自動的に再起動します。

6.9 工場出荷時設定に戻す

装置を工場出荷時設定にリセットできます。



設定内容および測定データの損失

工場出荷時設定にリセットすると、装置のメモリーにはメーカー出荷時の設定のみが残ります。

- ▶ 重要な測定データは事前に USB スティックに保存してください。「」を参照してください。

- ✓ スーパーバイザー権限
- ▶ > デバイスをリセット

6.10 高度の設定

- ▶ > 一般 > 測定

適切でない変更を行うと、誤った測定が行われることがあります。

- ▶ このページの設定を変更する場合は、必ずインフィコンにご相談ください。

6.11 アクティブなエラーおよび警告を呼び出す

アクティブなエラー

エラーまたは警告は現在の作業画面に表示されます。さらに診断 記号がカラー表示されます。

1 > エラーおよび警告

⇒ 「エラーと警告」ボタンは、エラーまたは警告がアクティブである間のみ使用可能です。エラーと警告はリストで表示されます。

2 測定を行うには、アクティブなエラーまたは警告を「Clear」ボタンで確定します。

⇒ 表示された情報が閉じられます。

「警告およびエラーのメッセージ」も参照してください。

6.12 ログアウト

- 1 ディスプレイ左上に表示されているユーザー名を押します。
 - ⇒ 「ユーザーオプション」ウィンドウが開きます。
- 2 「ログオフ」ボタンを押すことでデバイスからログオフされます。
 - ⇒ ログインウィンドウが開きます。

7 CP7ハウジングの清掃

ここに説明されているすべてのクリーニングおよびメンテナンスの作業は、デバイスを分解しないで実施する必要があります！

危険

感電による生命の危険性

デバイス内部には高電圧が発生しています。通電部品に触れると死亡に至る可能性があります。

- ▶ 設置作業やメンテナンス作業を開始する前に、デバイスから電源を外してください。誤って電源がオンにならないように対策を実施してください。
- ▶ デバイスを開かないでください。

CP7ハウジングを清掃する

ハウジングは塗装された金属ハウジングで構成されています。

- 1 CP7が電源から切り離されていることを確認してください。
- 2 このとき、水以外の液体を使用しないでください。
- 3 アルコール、グリースあるいはオイルを含んだ洗浄剤は使用しないでください。
- 4 ハウジングは湿らせた柔らかい布でふき取ります。

8 デコミッショニング

8.1 Gerät entsorgen

Das Gerät kann vom Betreiber entsorgt oder zum Hersteller gesendet werden. Das Gerät besteht aus Materialien, die wiederverwendet werden können. Um Abfall zu vermeiden und die Umwelt zu schonen, sollten Sie von dieser Möglichkeit Gebrauch machen.

Beachten Sie bei der Entsorgung die Umwelt- und Sicherheitsbestimmungen Ihres Landes.

8.2 メンテナンス、修理または廃棄のためのCP7の返却



警告

有害物質による危険性

汚染されたデバイスは、健康にとって有害となる可能性があります。汚染申告は、デバイスに触れるすべての人を保護する役割を果たします。返送番号と記入済みの汚染申告を添付せずにデバイスをご送付いただいた場合、INFICONは発送者にデバイスを返送いたします。

▶ 汚染申告フォームのすべての項目を記入してください。

- 1 デバイスを発送する前にメーカーへ連絡し、すべての項目を記入した汚染申告書フォームを送付してください。
⇒ その後、返送番号と返送先住所が送られてきます。
- 2 返送する際は、元の梱包材を使用してください。
- 3 デバイスを送付する前に、すべての項目に記入した汚染申告のコピーを梱包の外側に添付してください。

汚染申告については、下記を参照してください。

Declaration of Contamination

The service, repair, and/or disposal of vacuum equipment and components will only be carried out if a correctly completed declaration has been submitted. Non-completion will result in delay.
 This declaration may only be completed (in block letters) and signed by authorized and qualified staff.

1 Description of product

Type _____

Article Number _____

Serial Number _____

2 Reason for return

3 Operating fluid(s) used (Must be drained before shipping.)

4 Process related contamination of product:

toxic	no <input type="checkbox"/> 1)	yes <input type="checkbox"/>	
caustic	no <input type="checkbox"/> 1)	yes <input type="checkbox"/>	
biological hazard	no <input type="checkbox"/>	yes <input type="checkbox"/> 2)	
explosive	no <input type="checkbox"/>	yes <input type="checkbox"/> 2)	
radioactive	no <input type="checkbox"/>	yes <input type="checkbox"/> 2)	
other harmful substances	no <input type="checkbox"/> 1)	yes <input type="checkbox"/>	

2) Products thus contaminated will not be accepted without written evidence of decontamination!

The product is free of any substances which are damaging to health
 yes

1) or not containing any amount of hazardous residues that exceed the permissible exposure limits

5 Harmful substances, gases and/or by-products

Please list all substances, gases, and by-products which the product may have come into contact with:

Trade/product name	Chemical name (or symbol)	Precautions associated with substance	Action if human contact

6 Legally binding declaration:

I/we hereby declare that the information on this form is complete and accurate and that I/we will assume any further costs that may arise. The contaminated product will be dispatched in accordance with the applicable regulations.

Organization/company _____

Address _____ Post code, place _____

Phone _____ Fax _____

Email _____

Name _____

Date and legally binding signature _____ Company stamp _____

Copies:
 Original for addressee - 1 copy for accompanying documents - 1 copy for file of sender

9 証明書

9.1 CE宣言



EU Declaration of Conformity

We – INFICON GmbH - herewith declare that the products defined below meet the basic requirements regarding safety and health and relevant provisions of the relevant EU Directives by design, type and the versions which are brought into circulation by us. This declaration of conformity is issued under the sole responsibility of INFICON GmbH.

In case of any products changes made, this declaration will be void.

Designation of the product:

Display for leak detector

Models: **CP7**

Catalogue number: **600-310**

The products meet the requirements of the following Directives:

- *Directive 2014/30/EU (EMC)*
- *Directive 2011/65/EU (RoHS)*

Applied harmonized standards:

- *EN 61326-1:2013*
Class A according to EN 55011
- *EN IEC 63000:2018*

Cologne, March 25th, 2024

Matthias Fritz, Managing Director LDT

Cologne, March 25th, 2024

pro

Winfried Schneider, Research & Development

INFICON GmbH
Bonner Straße 498
D-50968 Cologne
Tel.: +49 (0)221 56788-0
Fax: +49 (0)221 56788-90
www.inficon.com
E-mail: leakdetection@inficon.com

9.2 中国版RoHS

Restriction of Hazardous Substances (China RoHS)

有害物质限制条例（中国 RoHS）

		CP7: Hazardous Substance CP7: 有害物质				
Part Name 部件名称	Lead (Pb) 铅	Mercury (Hg) 汞	Cadmium (Cd) 镉	Hexavalent Chromium (Cr(VI)) 六价铬	Polybrominated biphenyls (PBB) 多溴联苯	Polybrominated diphenyl ethers (PBDE) 多溴联苯醚
Assembled printed circuit boards 组装印刷电路板	X	O	O	O	O	O
<p>This table is prepared in accordance with the provisions of SJ/T 11364. 本表是根据 SJ/T 11364 的规定编制的。</p> <p>O: Indicates that said hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement of GB/T 26572. O: 表示该部件所有均质材料中所含的上述有害物质都在 GB/T 26572 的限制要求范围内。</p> <p>X: Indicates that said hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement of GB/T 26572. X: 表示该部件所使用的均质材料中，至少有一种材料所含的上述有害物质超出了 GB/T 26572 的限制要求。</p> <p>(Enterprises may further provide in this box technical explanation for marking "X" based on their actual circumstances.) (企业可以根据实际情况，针对含 "X" 标识的部件，在此栏中提供更多技术说明。)</p>						



Due to our continuing program of product improvements, specifications are subject to change without notice.
The trademarks mentioned in this document are held by the companies that produce them.